

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高齢者住宅改造助成事業				会計	款	項目	大	小
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者生きがい推進課				
施策	4-6	バリアフリーのまちづくり			主管課長	横山 友二			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	要介護又は要支援認定を受けている65歳以上の高齢者	意図	運動機能の低下や、身体に障害があることで在宅生活に支障がある高齢者が、住み慣れた自宅で安心して暮らせるよう住宅の改修を行う。
事業内容	介護保険認定者に対し、事業対象工事費の1/2、30万円を限度に住宅改造費を支給する。ただし、介護保険住宅改修費20万円を利用後、住宅改修費で足りなかった部分について支給する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成7年度事業開始し、介護保険制度が平成12年4月開始されたことに伴い介護保険と併用し補完する制度として見直しを行い、限度額等の見直しを数回行った事業を継続してきた。なお、平成22年度に助成額を工事施工業者へ支払う受領委任払いを実施し、平成23年度には助成対象工事を市内事業者へ限定した。今後とも需要の高い事業である。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	助成件数	38	37	35	件	↑↑↑	
	②							
	③							
	④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 前年度比助成件数及び助成額は横ばいとなっている。 今後は高齢者人口の増加に伴い需要も増加することが見込まれる。	
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,000,100	5,593,000	5,516,000				
事業費(b)(円)		4,904,000	3,520,000	3,257,000				
うち一般財源		4,904,000	3,520,000	3,257,000				
職員給与費(c)(円)		2,096,100	2,073,000	2,259,000				
人役・職員(人)		0.30	0.30	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	制度の周知に努め、必要な方にサービスを提供できるようにする。	③取組の課題	申請から決定までに申請者の健康状態、世帯の所得状況、住宅の状況等を確認する必要があり、時間を要している。
②今年度(H27)に実施した取組	窓口において申請者に丁寧に制度説明を行ったことで、制度を理解いただいた。また、このことで、必要な方に適正なサービスの提供を行った。	④今後の改善計画	申請から補助金の決定までにかかる時間のうち効率化できるものは見直し、迅速に対応できるよう努める。